

事業所における自己評価結果(放デイ)

公表：令和 年 月 日

事業所名： Coccoiro

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		パーテーションやコーナーを作っている。	
	②	職員の配置数は適切である	4		・基準に沿って配置	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	・玄関やトイレに段差あり。 状況に応じてスロープの設置ができるように準備している。	
業務改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	4		・その日の内に共有し、翌日に一貫した関わりに繋げている。 ・定期的なミーティング実施	
	⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		アンケートにて家族の思いに触れる事ができている	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		ホームページにて公開	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	第三者評価なし	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2	・年に数回職場内研修 ・個人で外部研修	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		子どもの状況、家庭の悩み等から計画立案に繋げている。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	2	2	・支援のベースがある。 ・個別ケースに応じて実施	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		チームで話し合っ決めていくことができる。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		子ども達の育ちに必要スキル獲得に合わせ、新しいプログラムを組むことが出来ている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定支援しているか	4		・長期休暇ならでわの時間の使い方ができている。 ・1日の流れがあり、利用児にも理解できるように伝え、一緒に考えながら活動できている。	

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	4		小集団に分けて計画的な活動実施。個別OTの介入。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		朝礼時、週案や月案にて共有している。	
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		支援終了後や翌朝に情報共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	対応した職員が記録を取り、役割を柔軟に対応。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		親との面談や職員間で話し合いを通して見直しできている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4		学校ファイルの確認、送迎時に担任等と直接話したり、電話で確認するなど連携を図っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	4		該当児がいない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
関係機関や保護	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		法人内の児童クラブと月1~2回交流している。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		担当職員が毎回参加している	

者との連携

保護者への説明責任等

非常時の対応

⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		保護者迎え時やSNS等で伝えている。	
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4		年に1~2回は計画しているがコロナの影響で未実施。個別面談等にて伝えている。	
㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	4		契約時に伝えている	
㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	4		保護者迎え時や連絡があった時に随時対応している。	
㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	1	3	毎年、茶話会や親子体験等計画しているが、コロナの影響にて未実施。	
㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	4		契約時に伝えているが、苦情の声は上がっていない。	
㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	4		毎月発行	
㉗	個人情報の取り扱いに十分注意している。	4		できている	
㉘	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしている。	4		児に応じた視覚支援やフィードバックの工夫など必要に応じて対応。	
㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	2	2	行事の実施はないが、見学は随時受け入れている。	
㉚	緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	3	1	作成し、いつでも見れるようにしている。	
㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	4		様々な災害ケースに応じて実施。	
㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	3	1	該当児には必要書類の提出をお願いしている	
㉝	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有している。	2	2	情報共有はしているが、記録に残せてないものが多い。	
㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	3	1	年1回実施	
	どのような場合にやむを得ず身体				

④③	拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	3	1	対象児がない	
----	--	---	---	--------	--